

授業科目	日本の歴史と文化地理 I				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	清水 順子										
授業概要	これまでの学校教育や生活の中でおぼろげに“知っている”日本の歴史、文化地理について、自ら調べ・考え、他者に表現し、それに対する他者の考えを知ることを通して、自分のものとして理解していくことをめざす。このために、授業では教員による講義とともに受講者によるプレゼンテーションとフィードバックを主軸とする。また、毎回の授業の初めに、日本の歴史地理文化に関する基本的な事項の確認も行う。										
授業形態	講義	授業方法	プレゼンテーション・ディスカッション GoogleClassroom を活用し、資料等の共有を行う。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 日本の歴史・文化地理に関する基盤的知識を習得する。 2. 日本の歴史・文化地理について自分自身の見方・考え方を持つことができる。 3. 日本の歴史・文化地理について他者に自分自身の見方・考え方を表現できる。										
理想的レベル	日本の歴史・文化地理についての豊富な知識を背景に、他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき自らの考えを持つとともに、それを他者と共有していくことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	30%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%										
レポート外の提出物	30%										
その他	10%				授業への参加度、提出物						
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN11306J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
予習：該当部分の予習を行う。 復習：発表やフィードバックをまとめ、振り返りを行う。										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション 日本地理の基礎確認／文化地理とは										
第2回	日本史の基礎確認 歴史と文化について										
第3回	トピック1 日本の文学：短歌・俳句・文学 地理1：日本の気候										
第4回	トピック2 伝統芸能①：能、歌舞伎、他										

	地理2：日本の地形
第5回	トピック3 伝統芸能②：能, 歌舞伎, 他 地理3：文化財・記念物
第6回	トピック4 伝統芸術①：生け花・茶道 地理4：日本の世界遺産
第7回	トピック5 伝統芸術②：絵画・陶芸・民芸 地理5：日本の自然公園
第8回	トピック6 伝統芸術③：盆栽・庭園 地理6：日本の山・川・湖沼
第9回	トピック7 建築・住居：代表的建築物・建築様式 歴史1：日本史概観
第10回	トピック8 日本の宗教文化：宗教文化・建築 歴史2：古代
第11回	トピック9 行事：年中行事・祭り 歴史3：中世
第12回	トピック10 習慣：地域風俗、習慣 歴史4：近世
第13回	トピック11 食文化と日本人 歴史5：近代 歴史6：現代
第14回	各発表に対する意見交換
第15回	総括
テキスト	教科書は使用しない。 授業中に資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	提出物はコメントを付けて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	日本の歴史・地理に関する高校までに学ぶ基礎概念を基盤とし、講義を行います。 自身のプレゼンテーション、他者のプレゼンテーションを聴く・フィードバックを行うことで学習効果は変わります。ぜひ、能動的・主体的参加を心掛けてください。